

福島県相馬地区における食物アレルギーを持つ児童への対応に関するアンケート調査

出典	小児科臨床 2018;71(8):1433-1440 (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2018380586/)
著者	武山彩 他
調査地域	福島県相馬地区（新地町、相馬市、南相馬市）
調査時期	2016年8月
調査対象	保育所 15 施設、幼稚園 16 施設、小学校 28 校、中学校 12 校、高校 8 校、特別支援学校 1 校
依頼数	80 施設
有効回答数 または回収率	94% (27 施設, 48 校: 11,659 人)
診断方法	職員の申告（医師の診断の有無は問わない）
有症率	3.1% (364 人), （未就学児 3.5% (80 人), 学童 3.0% (284 人)）
調査概要	福島県相馬地区の児童を対象に食物アレルギー児の有病率とアレルギー児への対応を調査した論文。誤食は 10 施設で経験があったが、エピペンを使用した例はいなかった。